

スタッフインタビュー



高志ワークホーム

生活支援員(日勤・夜勤)

栗山 巽さん(2012 年入社)

資格:介護福祉士・社会福祉士

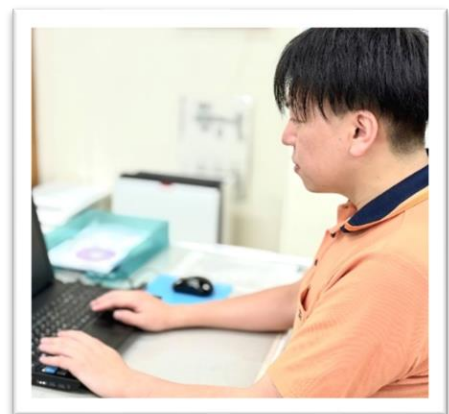
育児休業取得、男性も子育てと両立できる環境

介護の仕事を選んだきっかけ

日本では少子高齢化が進む中で、介護のニーズがますます高まっていると感じ、自然と介護の分野に関心を持つようになりました。実際にボランティア活動を通して高齢者や障がいのある方々と関わる中で、自分の関わりによって笑顔を見せていただけたことに大きなやりがいを感じました。そうした経験が、介護の仕事を選んだきっかけとなりました。

業務内容

高志ワークホームで生活支援員として、生活介護や入所者支援の日中と夜間の対応や、利用者の買い物支援、生産活動(タオルたたみ)の補助などを行っています。その他には、利用者の自己負担の見直し、不在者投票のとりまとめ、防災訓練など。



仕事のやりがいや面白さを感じる時

利用者の方と向き合い、関係性を築いていく中で、少しずつコミュニケーションが増えていくことに喜びを感じます。外出支援などを通して、利用者の方が「楽しい」と感じてくださる瞬間は、私自身にとっても楽しく、何よりその笑顔が日々の原動力になっています。



家庭と仕事の両立

職場からのサポートがあり、育児休業を1か月取ることができたのは大きな助けでした。また、希望休も比較的取りやすく、福利厚生が整っているため、家庭と仕事をバランスよく両立できています。子育てと仕事の両方を充実させるために、職場の柔軟なサポートに感謝しています。

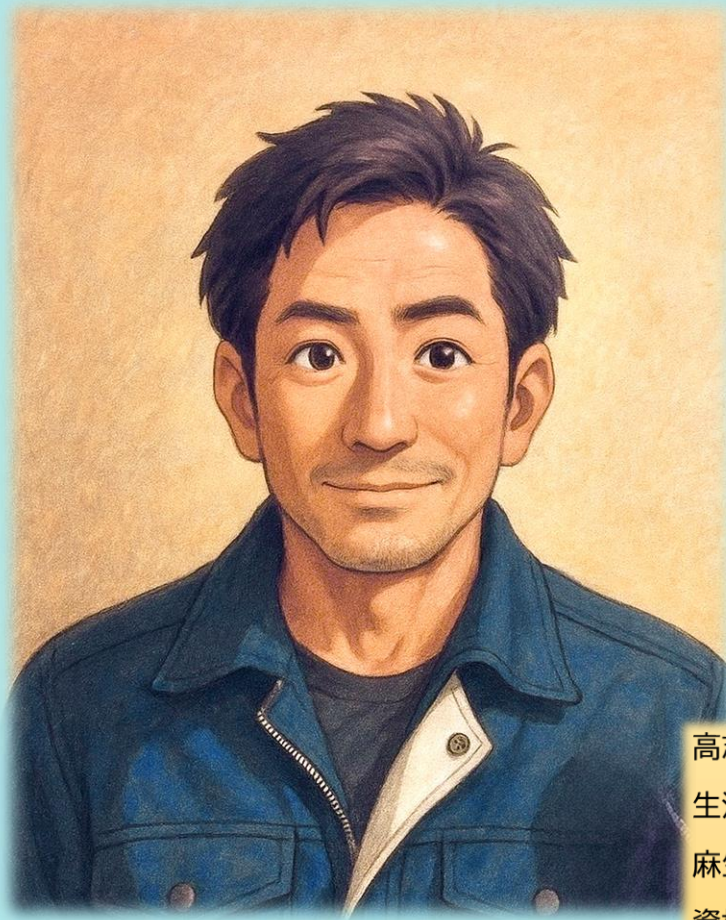
趣味や休日のリフレッシュ方法

休日は、子どもと一緒に家族でショッピングに出かけることが楽しみです。また、家では妻と一緒にニンテンドースイッチでゲームをする時間も大切にしています。特に『マリオカート』や『ファイナルファンタジー』をプレイするのが、私たちのリフレッシュ方法です。

今後の目標

仕事と育児をうまく両立させながら、健康を保ち、充実した日々を送っていきたいと考えています。家族との時間も大切にしつつ、自分自身の健康管理にも気を付けていきたいです。





高志ワークセンター
生活支援員(日勤)
麻生 昌弘さん(2012 年入社)
資格:介護福祉士

これまでの経験を生かし、福祉の世界で、ものづくりを支援

介護の仕事を選んだきっかけ

学生時代に病院や自閉症の子どもを対象にしたボランティアに関わり、福祉に興味を持っていましたが、福祉関係の学校ではなかったため福祉の道に進みませんでした。その後、転職の機会があり、興味があった福祉の仕事の資格を取得して就職しました。



業務内容

生産活動の支援として、主に制御盤の電線加工を担当しており、利用者の方の障害特性に配慮しながら、PC 作業や各種加工機械、手動工具の取り扱いをサポートしています。また、工賃向上を目指し、生産性の向上にも取り組んでいます。

仕事のやりがいや面白さを感じる時

以前は製造業に従事していたため、モノづくりを通して利用者の方の支援をすることにやりがいを感じています。利用者の方が新しいことに挑戦し、できるようになった時はとても嬉しいです。また、うまくいかない場合でも、個々の特性に合わせた作業環境を考えることが楽しいと感じています。

趣味や休日のリフレッシュ方法

遠くにドライブに出かけ、見たことのない景色を楽しんだり、ご当地のグルメを食べることが良い気分転換になっています。



今後の目標

一人ひとりの利用者の方にしっかり向き合い、その方に合った支援ができるよう、支援技術をさらに深めていきたいです。そして、利用者が安心して通える場所づくりを目指していきたいと思っています。



高志生活訓練センター

生活支援員(日勤)

河原 侑香里さん(2008 年入社)

資格:介護福祉士・相談支援専門員

子育てしながら、仕事でもやりがいのある生活

介護の仕事を選んだきっかけ

母が介護士をしており、施設の行事等のボランティアで介護施設に足を運んでいたのが介護との出会いです。養成学校で、保育、介護と学びました。実習やボランティアで障害児・者の方と接することが多く、仕事でも障害者支援をしてみたいと思い今の仕事を選びました。

業務内容

高志生活訓練センターでは、病気や障害を持った方が自立した日常生活や社会生活を送れるよう、自立訓練を行っています。体力づくりや脳トレ、高次脳機能訓練、調理訓練を一緒に行い、利用者の方やそのご家族からの相談にも応じ、必要に応じて就労支援を行っています。



仕事のやりがいや面白さを感じる時

利用者の方から『ありがとう』や『ここに来て良かった』と言われた時、支援をして良かったと感じます。また、自立訓練を卒業し、就労や一人暮らしが実現した瞬間も大きな喜びです。さらに、利用者の方との会話を楽しんでいる時間も、仕事の魅力の一つです。

家庭と仕事の両立

家庭と仕事の両立は大変ですが、家族と協力しながらやりくりしています。現在は暦通りの勤務なので予定が組みやすく、休日は子どもたちに時間を使うことができとても助かっています。また、周りの職員にも支えられ、子どもの急な体調不良や行事ごとの参加などで休みが取りやすいことが、仕事を続けてこられた大きな要因だと思っています。



趣味や休日のリフレッシュ方法

休日は息子の野球の試合や練習の送迎をすることが多く、家族全員で応援しています。時間がある時は動画配信サービスでドラマや映画を見てリラックスし、仲の良い人たちと食事をしながらたくさん話すことも楽しみの一つです。

今後の目標

まずは健康第一で元気に過ごし、時間があればまだ行ったことのない場所へ旅行に行きたいです。仕事では、まだ勉強不足だと感じているので、研修に参加して知識を深め、さらに成長していきたいと思っています。